

崖 響

～足高発！未来に輝く君たちへ！！～

創刊号 2017/5/2発行
栃木県立足利高等学校
進路指導部

題字：中村恵太

“敵を知り、己を知る”

～足高進路通信「崖響」創刊に寄せて～



栃木県立足利高等学校 校長 橋本 正治

学校評価アンケート結果をみますと、「主体的な進路選択をする上で、本校の進路に関する援助に満足していますか。」に対して、保護者の皆様から、「保護者への進路情報の提供が少ない。」とのご指摘を受けております。これは本校の長年の課題でもあります。そこで、今年度、進路指導部が足高進路通信「崖響」を発行することとしました。有益な情報提供ができるように努めますのでよろしくお願いします。

さて、皆さんは、孫子の有名な言葉「敵を知り、己を知れば百戦危うからず」を知っていますか。大学受験に限って言えば、己を知るとは、自分の学力を知ることであり、敵を知るとは、入試の傾向や難易度を知ることです。しかし、私はもっと広くこの言葉を捉えて欲しいのです。“己を知る”とは、自分の生き方を考えることであり、適性・能力・保護者の考えなどを知ることです。“敵を知る”とは、自分の社会での活かし方を考えることであり、社会情勢・職業・資格などを知ることです。この「崖響」が、“敵を知り、己を知る”一助となり、主体的な進路選択に資することを心から願っています。

平成29年度 卒業生及び既卒生の主要大学合格状況

■大学合格者一覧

※()内現役数

国公立大学		私立大学	
大 学 名	29年度	大 学 名	29年度
小樽商科大	1(1)	獨協大	19(19)
北海道大	1(1)	文教大	5(5)
北海道教育大	1(1)	青山学院大	2(2)
弘前大	1(1)	慶應義塾大	1(1)
東北大	4(3)	駒澤大	3(3)
秋田大	1(0)	芝浦工業大	13(8)
福島大	1(1)	上智大	1(1)
茨城大	4(4)	専修大	9(9)
筑波大	2(2)	中央大	6(5)
宇都宮大	4(4)	東京電機大	23(22)
群馬大	8(6)	東京農業大	4(2)
埼玉大	5(5)	東京理科大	9(7)
千葉大	1(0)	東洋大	21(17)
電気通信大	1(1)	日本大	9(8)
東京外国語大	1(1)	法政大	14(11)
横浜国立大	1(1)	明治大	12(10)
新潟大	4(4)	立教大	5(5)
信州大	2(2)	早稲田大	4(4)
京都大	1(0)	同志社大	3(3)
富山大	1(1)	立命館大	1(1)
高崎経済大	4(4)	国際医療福祉大	9(8)
前橋工科大	2(2)	自治医科大(医・医)	1(0)
埼玉県立大	1(1)		
首都大学東京	2(2)		
その他	9(9)	その他	168(155)
国公立大 計	63(57)	私立大 計	342(306)

北海道大学（法）、東北大学（工・法）、東京外国語大学、慶応大学（商）、早稲田大学（文・教育・文化構想）、上智大学（文）へ現役合格！既卒生では、京都大学（工）、自治医科大学（医）への合格！

国公立大学の合格者数は昨年度より上向きになり、現在の在校生の校外模試の結果も各学年上昇傾向が見られ、来年度入試にさらに期待を持てる状況になってきています。特に3年生で現在、自分の目標に学力がまだ及んでいない生徒たち、今からが本番です。自分の目標に向かって、計画をしっかり立て受験勉強に取り組もう。

足高生よ！大志を抱け！

－凡事徹底を胸に 自分の可能性を最大限に発揮せよ－

主幹教諭・進路指導主事 須永 恵二



足高進路通信「崖響」の創刊にあたり、本校に建立されている「檀一雄文学碑」詩を贈ります。本校の卒業生に檀一雄という有名な作家がいます。昭和 52 年、当時の生徒総会の決議によって、「檀一雄文学碑」が学校祭の日程に合わせて本校に建立されました。正門から入ってすぐ右手にあります。碑文については、数ある作品の中から 3 詩に絞り、その中から生徒のアンケートによって「虚空象嵌」という詩が選ばれました。その詩には、青年の未来に向かうみなぎる夢と希望が謳われています。皆さんの先輩たちが熱い思いを込めて、後世の後輩達に託した詩です。青年の大きく、どこまでも広がっていく、果てしない夢をうたった詩です。

こくうぞうがん 虚空象嵌

この夢は
白い頁に折り込め
ああ この夢も
白い頁に折り込め
その頁頁 夢にくらみ
こくこう
皎皎
がいがいが
皚皚
舞ひのぼるもの
遂に虚空に満つと

今抱いているこの夢は
白いページの中に折り込もう
ああ 今胸に抱いているこの夢も
この白いページに折り込もう
そのページページは私の夢で目がくらむよう
こくこう
皎皎 (ほのかに明るく透明で白い様子)
がいがいが
皚皚 (汚れなく白い様子)
そんな私の夢はページから舞い上がり
ついにまっさらな虚空いっぱい広がっていく

訳は参考までとしてください。このような訳では適切でなく、もっと奥深いことを表現していると思われる部分が多々あるようです。是非、何度も読み込んでみてください。言い表せない様々な感情や感覚が体にしみこんでいくはずです。

生徒の皆さん、未来に向かうみなぎる夢と希望を青春の真っ白なページに折り込みながら、足高生として、失敗を恐れず果敢に挑み、どんどん羽ばたいてみてください。足高教職員全員で応援しています。

足高進路通信「崖響」を通して、定期的に学校の様子や進路情報等を生徒そして保護者の皆様にお知らせいたします。また、双方向の進路通信としたいと考えています。知りたい情報、掲載してほしい情報・ご要望等ありましたら遠慮無くご連絡ください。

足高進路室より

◆ 3 年 1 組中村恵太君の書による「崖響」というタイトルは、現在の生徒会誌「躍動」の前身である 1963 年に創刊された校誌「崖響」というタイトルによります。森栄章校長（当時）の創刊の挨拶には「今後職員、生徒の努力によりこの「崖響」を愛し育てていただき、本校の教育推進の原動力ともなり、貴重な記録ともなるよう」とあります。その精神を受け継ぎ、生徒・保護者の皆様から愛され、有益な情報を提供できるよう足高進路指導部一同努めて参ります。

◆次号予告◆特集「足高の学力向上のための取り組みについて」

ご意見・ご要望はお気軽に足高進路通信担当（飯村）までお寄せください。